

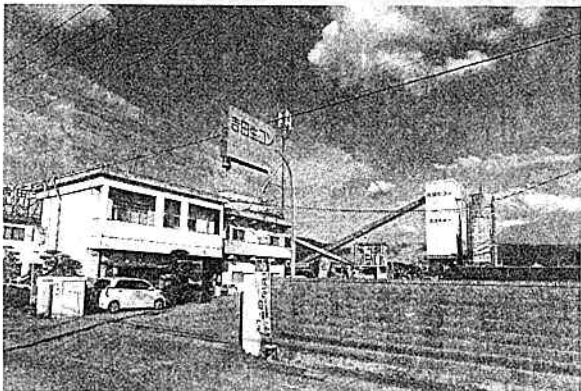
またもや組合側勝利命令!

解雇権の濫用であり

無効

大阪広域生コン協組のシナリオを強行してきた吉田生コン社経営者

3月9日、吉田生コン（奈良）懲戒解雇事件の仮処分裁判で、奈良地裁は会社に対し、組合員2人に賃金仮払いを命じる勝利決定を下した。



吉田生コン事件は（2019年4月発生）、労働協約に

もどき、組合活動に従事していた組合員について「無断欠勤」だとして解雇通告を行った。また、もうひとりの組合員については、10年以上前の些細な事案（仔犬をミキサー車の助手席に乗せたなど）を理由として、解雇通知書渡し、「自主退職するか懲戒解雇を選ぶのか」と二者択一を求められた。

解雇通知書を受けた組合員2人は、「退職をしない」と回答すると会社は、懲戒解雇を強行してきたのである。

この吉田生コンの解雇劇は、大阪広域協組が作った台本に沿ったものであり、弾圧に乗じた労働組合つぶしであった。

合理性と相当性がない
不当な懲戒解雇である

奈良地裁の仮処分決定は、組合員2人の懲戒解雇にはいずれも「合理性と相当性がなく、解雇権の濫用であり無効」と明快な判断を示した。

そして、解雇前の基準内賃金の全額である44万円余り（月額）を一審判決まで支払うよう命じた（組合員2人の担保なしで）。

大阪広域協組の策動に
綻びが見えはじめた!

これで先週2月26日の藤原生コン運送不当労働行為事件の大阪府労委勝利命令につづく4件目の勝利命令・決定となる。大阪広域協組の組合排除の策動があちらこちらで綻びを見せはじめた。

吉田生コン組合員懲戒解雇事件

連帯ユニオン関西地区生コン支部（奈良ブロック）

吉田生コン闘争ニュース

約束を反故にして自らを正当化する 大阪広域協同組合の執行部

関生支部に襲いかかる権力弾圧。元々、大阪広域協同組合が権力と手を組みストライキを威力業務妨害と事件をでっち上げたことから始まった。

生コン業界再建に向け

大阪地域は、2005年(労組への権力弾圧)以降、セメントメーカー・ゼネコン・商社・販売店などにより生コン適正価格が破壊され、原価割れ(1㎡8000円台)の生コンが流通していました。そのため、生コン企業は、出荷数量を増やすため安値競争を始めたのです。当時、道交法違反(過積載)は当たり前前、粗悪な生コンを販売する企業もありました。そして、過当競争が激化し、破倒産、夜逃げする業者が続出しました。

利益を労働者に還元

労使が懇談会を重ねて、生コン業界の再建を目指すには、生コン業界の秩序確立・生コン適正価格・適正運賃・安定供給が重点課題と確認し政策課題に取り組んだ結果、現在は、1㎡2万円近い金額で販売されるようになりました。

に突入しました。

権力の狙いは組織撲滅

権力側は、社会問題(反戦・反原発運動など)に積極的に取り組んでいる関生支部が目の上のたんこぶのような存在であり、組織の壊滅・弱体化のタイミングを伺っていました。

そして、権力側がストライキを好機として、大阪広域協同組合を結託して事件をでっち上げたのです。

なりの構わず攻撃を

グループが関生支部の組合事務所を襲撃したときにも、同行し薄ら笑いを浮かべていました。

また、差別排外者集団と共に行動して和歌山県内の労使問題にも介入。私たちの抗議行動を妨害してきました。

さらに大阪広域協同組合、「連帯と接触・面談の禁止」「団体交渉に応じない」ことを理事会で強行的に決議。協組員に連帯を出しました。

また、大阪広域協同組合の執行部の意にそぐわない企業に対して、協同組合法を無視して出荷差別を行い、連帯系の輸送会社との輸送契約の解除など、見えるようなカタチで圧力をかけてきました。

事件をでっち上げ逮捕

解雇の不当性が明らかに

この年の夏、警察権力による弾圧が始まりました。滋賀では、協組員の生コンの納入を要請したことを「恐喝未遂」。コンプライアンス啓蒙活動やピラマキを「威力業務妨害」。さらに、会館建設のカンパを受け取ったことを「恐喝」で逮捕しました。大阪では、ストライキを「威力業務妨害」で逮捕。京都では、非正規労働者が正規雇用を求めたことを「強要未遂」労使紛争の

解決時の解決金を取ったとして「恐喝」で逮捕。和歌山では、組合事務所に元暴力団を差し向けたことに対して和歌山広域協同組合で行った抗議活動を「威力業務妨害」で逮捕。現在までにのべ89人が逮捕されました。

今回の関生支部に対する攻撃は①連帯労組の壊滅を自論む警察権力②権力者だけが利益を得られる体制を作りたい大阪広域協同組合一部執行部③大阪広域協同組合にすり寄り利益を得ようとする差別排外主義者と御用組合、これらが一体となって仕掛けられたものです。

これに便乗するかのよう、2019年4月から5月に吉田生コン社の経営者は、組合員を懲戒解雇してきました。すぐさま、吉田生コン社に抗議活動を展開すると、吉田生コン社には大阪広域協同組合加盟工場の従業員が複数名待ち構え抗議活動を妨害。大阪広域協同組合は連帯排除の方針を奈良の地でも実行しようとしてきました。

翌年1月、差別排外者集団の

一員であるせと弘幸が大阪ヨドバシカメラ前で集会を行いました。大阪広域協同組合協同組合員に参加を要請し、「せと弘幸を応援していく」と表明。集会に参加しました。また、差別排外者

生コン適正価格を收受するこ

とで利益があがった大阪広域協同組合に対して、輸送運賃の引き上げの約束を履行するように求めたところ、約束を反故にし続けました。そのため、ストライキ

なりの構わず攻撃を

翌年1月、差別排外者集団の一員であるせと弘幸が大阪ヨドバシカメラ前で集会を行いました。大阪広域協同組合協同組合員に参加を要請し、「せと弘幸を応援していく」と表明。集会に参加しました。また、差別排外者

生コン適正価格を收受するこ

とで利益があがった大阪広域協同組合に対して、輸送運賃の引き上げの約束を履行するように求めたところ、約束を反故にし続けました。そのため、ストライキ

なりの構わず攻撃を

翌年1月、差別排外者集団の一員であるせと弘幸が大阪ヨドバシカメラ前で集会を行いました。大阪広域協同組合協同組合員に参加を要請し、「せと弘幸を応援していく」と表明。集会に参加しました。また、差別排外者

生コン適正価格を收受するこ

とで利益があがった大阪広域協同組合に対して、輸送運賃の引き上げの約束を履行するように求めたところ、約束を反故にし続けました。そのため、ストライキ

なりの構わず攻撃を

翌年1月、差別排外者集団の一員であるせと弘幸が大阪ヨドバシカメラ前で集会を行いました。大阪広域協同組合協同組合員に参加を要請し、「せと弘幸を応援していく」と表明。集会に参加しました。また、差別排外者